

自己評価表（アーチしばた児童心身発達センター）

1/4

実施日：2018年3月10日 回答数：10

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	1	1	定員に対してゆとりを保てるよう、複数の部屋を利用して活動しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	1	0	1	個々の子どもに合わせた対応を図るために十分なスタッフを配置しています。
	3	活動生活空間等は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2	1	1	部屋ごとに何に使うことができるか明確にしています。また、空間の使い方を工夫して発達・年齢に合わせた動線を考えています。
	4	活動生活空間等は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	0	1	清潔を保つとともに、当日の参加メンバーと活動内容に適した環境整備をしています。また、遊びのジャンルによって部屋を変えています。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2	1	2	デイ開始前のミーティングでは当日の打ち合わせしかできないことが多いので、個別の支援会議等別の時間でより深く話し合いをしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	3	1年に1度実施しています。改善努力をしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	1	3	保護者向けと同様に年1回は実施します。ホームページ上ではこの公表が該当します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	0	3	3	数年以内に受診を予定しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	0	1	2か月に1回スタッフ研修を開催しています。全員があいち児童発達支援連絡会認定指導員となるよう定例学習会に参加するとともに、その他外部研修については月2回お知らせを配布しています。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画(児童発達支援計画)を作成しているか	8	1	0	1	予め提供を受けた、家族と医療・福祉サービス等社会資源を含む個人情報とフェイスシートを反映して、保護者との個別面談の内容を踏まえて作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	1	3	標準化した個人情報シート、フェイスシート、サポートブックを使用しており、保護者用の書き方見本もお渡ししています。
	12A	放課後等デイサービスガイドライン総則の基本活動*を複数組み合わせ合わせた放課後等デイサービス計画と支援を行っているか *ア 自立支援と日常生活の充実のための活動 イ 創作活動 ウ 地域交流の機会の提供 エ 余暇の提供	6	3	0	1	毎月の活動会議で翌々月の計画を立案しますが、そのときに必ず基本活動を留意しています。特に地域交流は地域へのお買い物学習を取り入れています。
	12B	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1	0	2	保護者との面談を踏まえ、ご利用者にとって今一番必要な支援は何かという視点で内容を選択しています。
	13	放課後等デイサービス計画(児童発達支援計画)に沿った支援が行われているか	6	2	0	2	計画に基づき支援目的を明確にしています。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	2	毎月常勤スタッフで活動会議を行っています。	

自己評価表（アーチしばた児童心身発達センター）

2/4

実施日：2018年3月10日 回答数：10

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2	0	2	子どもたちの声・保護者の声を聞き、季節の行事を取り入れ工夫しています。評価の高い活動は繰り返し行っています。
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	4	0	2	長期休暇は個々に合わせたプリントを作成するなど、個別に課題を設定して支援しています。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	3	0	2	個々の発達状況に応じて、集団活動と個別活動を組み合わせ対応しています。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	1	事前ミーティングを毎回行っています。一人ひとりの近況や前日までの様子を話すようにしています。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	1	1	毎日の活動後に反省会を行い、伝言ノートを記入しています。反省会に参加できなかったスタッフやお休みのスタッフは翌日以降に伝言ノートを確認しています。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	1	家庭持ち帰り連絡ノートを複写で作成するとともに、スタッフで共有する記録も併行して常に検証と改善を意識しています。
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画(児童発達支援計画)の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	2	スタッフ参加の支援会議と称してモニタリングを行い支援計画の見直しにつなげています。
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	3	児童発達支援管理責任者が参加しています。
	23	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	0	2	機会があれば必ず参加し、地域の連携には留意しています。
	24	学校・園との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校・退園時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等)を適切に行っているか	8	1	0	1	前日には翌日のお迎え時間、場所、担当スタッフなどについて保護者への電話等で確認し、お迎え時のトラブルがないように努めています。
	25	(児発について)移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援センター(事業所)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	0	3	必要に応じて、支援会議を行っています。
	26	(児発について)移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	2	0	3	特に移行支援とはしていないが、連携と相互理解には留意しています。
	27	(放デイについて)移行支援として、就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援センター(事業所)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	0	2	特に移行支援とはしていないが、連携と相互理解には留意しています。
	28	(放デイについて)移行支援として、学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等、相互理解を図っているか	5	2	0	3	特に移行支援とはしていないが、連携と相互理解には留意しています。
	29	児童発達支援センターや他の放課後等デイサービス(児童発達支援事業所)、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	0	2	すべてのご利用者について、個別のケースで連携しています。

自己評価表（アーチしばた児童心身発達センター）

3/4

実施日：2018年3月10日 回答数：10

関係機関や保護者との連携	30	保育所や認定こども園、幼稚園等、放課後児童クラブ等や児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	4	3	公園へでかけてふれあう機会を設けています。今後は児童館や地域のイベントへの参加を積極的に取り入れていきます。
	31	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	2	0	2	児童発達支援管理責任者が参加しています。子育て支援には別の担当者も関与しています。
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1	0	1	送迎時を含めて連絡を密にとり、子どもたちの日々の成長を伝えられる環境づくりを目指しています。
	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	3	1	2	十分に行えていません。外部での研修等の案内配布などの情報提供をしています。
保護者への説明責任等	34	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	0	3	契約時に丁寧にお話しています。
	35	(児発について)児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	1	1	2	ご理解いただけるまで、きめ細かな説明に努めています。
	36	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	2	保護者との連絡を密に取り、困りごとを言っただけのような信頼関係を築きます。
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	4	3	以前は茶話会や事業所見学を開催していました。これからも機会を増やすよう努めます。
	38	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	2	なるべくその日のうちに解消するように努めています。また、週に2回以上は管理者以外の法人役員による拡大相談窓口を設けています。
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	0	2	アーチ通信を年6回奇数月15日に発行しています。
	40	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	1	0	2	個人名のあるものは鍵付きロッカーに保管しています。個人名の書類はシュレッダーにかけて破棄しています。
	41	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2	0	2	会報「アーチ通信」と「研修報告」には文書読み上げ2次元コード「SPコード」をつけています。アーチ通信にはひらがなを本文として漢字かな混じりをふりがなとした「ふりがな版」も発行しています。
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	2	3	過去にはあーちまつりを開催し、地域の方々にも多くご参加頂きました。近年は季節の行事を子どもたちとスタッフで行っており地域に開放した形になっていません。
非常時等の対応	43	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	1	2	それぞれのマニュアルを備えて周知するとともに、警察OBの方などに来ていただき、保護者も交えた防犯教室を開催しています。
	44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	3	1	3	毎月シェイクアウト方式の防災訓練を実施しています。

自己評価表（アーチしばた児童心身発達センター）

4/4

実施日：2018年3月10日 回答数：10

非常時等の対応	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況と対応を確認しているか	8	0	0	2	保護者から確認をし、サポートブックにも記載していただき対応しています。
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	0	4	保護者から医師の話を聞き取りをし、保護者の指示にて対応しています。
	47	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	2	3	様式を定めて記入し、共有しています。
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	1	2	スタッフ研修を毎年行っています。参加できなかったスタッフへは資料の配布をしています。
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画(児童発達支援計画)に記載しているか	3	1	2	4	必要に応じて検討を加えて記載します。